

面接での服装と持ち物について知ろう！

日本では面接時には主にスーツを着用します。

アルバイトやボランティアなどのカジュアルな面接では普段着の場合もありますが、

清潔感のある身だしなみ、TPO に合った服装を心がけましょう。

POINT

◆「清潔感」とは？

汚れがなく衛生的。

きちんと手入れされている様子を表す言葉です。

シャツに皺や汚れはありませんか？爪は伸びていませんか？

清潔感のある身だしなみは相手を不快にさせないマナーの1つです。



◆「TPO」ってなに？

TPOとは…時と場所、場合に合わせて行動や言動をわきまえること。

時(time)場所(place)場合(occasion)の頭文字を取った略語(和製英語)です。

「TPOにあった服装」とはその環境に合わせた適切な服装という意味です。

TPOを意識することで、まわりの人へ常識的な判断ができる信頼できる人という

印象を与えることができます。

**ふくそう
服装**

スーツでの面接の場合は、スーツは光沢のない無地生地、色は黒・濃紺・グレーなど落ち着いた色のものを選びます。

スーツの中には襟付きのシャツを着ます。シャツは光沢のない無地生地、色は白が良いです。胸元を大きく開けないように上のほうまでボタンをしめて着ます。シャツに皺がある場合はアイロンで伸ばしておきましょう。

男性はネクタイを着用します。色は落ち着いた色を選びます。日本では白、黒のネクタイは冠婚葬祭のときに着用しますので、面接では使用しません。

普段着での面接の場合は肌の露出を避けた服装を選びます。

面接先の雰囲気や仕事の内容に合った服装にすることで好印象を与られます。

ズボンを着用するときは、必ず靴下やストッキングを

着用します。ストッキングは色はベージュ、

靴下の色はズボンの色に合わせます。



スカートを着用するときも必ずストッキングをはきます。色はベージュにします。

**くつ
靴**

靴は大きな金具や飾りのついていないシンプルなものを選びます。

素材は合皮もしくは革製、色は黒が良いです。

面接前日までに靴に汚れがついていないか確認しておきましょう。

